



# 学校通信

令和2年2月3日  
東京都立葛飾盲学校長  
田島 忍  
(第12号)

育てたい力を考えて、教材の開発

主幹教諭 丹羽弘子

前任の盲学校の幼稚部での話です。放課後の職員室で、はめ板(正しい形を選んで、型にはめる課題)の学習について、学部の先生方と子供たちの様子を振り返りました。

弱視のAさんは正円と楕円の違いは分かるが、楕円と長方形は同じ形だと思ってしまうことがある。全盲のBさんは、正円と正方形の違いは分かるが、正円と楕円は同じ形だと思ってしまうことがある。Aさんは保有する弱い視力で視覚的に形をとらえているから、細長いものを同じものだと思ってしまう。Bさんは触覚で角や丸みをとらえているから、丸みのあるものを同じものだと思ってしまう。なるほど!だから、弱視のAさんと全盲のBさんでは、このような違いが生まれるのでは!?

さらに私たちは、2人の子供たちの育てたい力について考えました。弱視のAさんには、視覚だけに頼らず、きちんと触って確かめることもできる手指の力をつけさせたい。全盲のBさんには、長径と短径の長さの違いが分かるような手指の力をつけさせたい。そのために、教材をどのように工夫するか?

市販のはめ板教材が学習に適切な場合もありますが、見えない、見えにくいお子さんが手で触って形を把握するには大きすぎたり、角のとがり具合が分かりにくかったりすることも少なくありません。ということから、私たち教員は教材の自作や開発を考えます。本校では、毎年、教員が開発した教材を校内学習コンテンツに挙げて、全教員で共有しています。そのコンテンツは、本校1階廊下に掲示してありますので、御来校の折には、是非、御覧いただけたらと存じます。引き続き、本校の教育活動への御理解をよろしくお願いいたします。

## 小学部 東綾瀬小学校との交流「夢いっぱいワールド」

1月24日(金)に、小学部全員で交流校である東綾瀬小学校の行事「夢いっぱいワールド」に、参加しました。本校は、学芸会の演目をテーマに『かつもうオトリンピック2020』コーナーを開催しました。どんなゲームにするか、子供たちと一緒に考えました。「音あてドン!」「おんぷつりつり♪」「つみつみ」の三つのゲーム係と受付・呼び込み係などを子供たちが分担しました。準備も全員が関わって進めました。当日はたくさんのお客さんが来てくれて、大盛況でした。

係を担当しない時間は、お客さんとして東綾瀬小学校の各コーナーをまわり、いろいろなゲームやクイズに挑戦し、とても楽しい時間を過ごしました。(小学部 坂上)

